

# 参加者の声

## 特集 意見交換会



町内の有識者が入る第三者機関に、議会の考えを提出し、審議の上、答申書を出してもらう手続きはどうか。

議員は非常勤。報酬を上げることは理解を得られない。仕事量は増えるが、委員会を兼任し、定数を減らしてはどうか。

定数や報酬は、近隣の自治体議会との比較でなく、大口町議会独自で決めればいい。

「報酬を上げて若い人を」。耳ざわりはいいが、現役時代に活躍し、知識・経験が豊富な方が議員になってもいいのでは。

議員として立候補する・しないは、地域で考えること。「行政区の数＝議員の定数」は違うのでは。

報酬を上げれば、本当に立候補者は増えるのか。魅力のある議員とは何なのか。



報酬は「引き下げるべき」ということではなく、議員は、その収入に見合った以上の仕事をしてもらいたい。

「議員はボランティア」という考え方で、定数や報酬の問題を改革してはどうか。



※議会は、現時点で議員の定数と報酬に対し、統一的な考え方をお示しする段階にありません。今後、さまざまな方法で検討し、来年度中に結論を出す予定です。

議会は、今回の意見交換会の後、下記の会議により検討を進めています（12月末までの開催状況）。

11月15日（火）議会全員協議会  
22日（火）議会運営委員会

12月 6日（火）総務建設常任委員会  
9日（金）正副委員長会議  
27日（火）議会全員協議会

平成28年11月12日(土)、住民の皆さんと意見交換会を開催しました。

議員の説明後、参加者から「議員の定数と報酬」に関する意見をいただきました。いただいた主な意見やアンケート結果を紹介します。  
ご意見等、ありがとうございました。

開催場所・時間・参加人数  
豊田学共 午後2時～3時 10人  
下小口学共 午後6時～7時30分 16人

なお、意見交換のテーマ以外で出された町に伝えるべき意見・要望は、議会で対応を調査・検討し、町に伝えました。



下小口学共



豊田学共

議会運営委員会では、議長から議員の定数と報酬に関する諮問を受け、住民の皆さんの意見をお聞きしながら、現在の定数(15人)と報酬(29万2千円～)のあり方を検討しています。

### 諮問書

#### 1 諮問事項

- (1)大口町議会議員定数について
- (2)大口町議会議員報酬について

#### 2 答申時期

答申は、それぞれの各種手続き、住民への周知なども含め次期大口町議会議員選挙(2019年4月)に適用できるようご配慮願いたい。

#### 3 検討の手順

- (1)議員間の議論、検討
- (2)地域住民、町内の各種団体からの意見聴取

#### 4 検討の内容

##### (1)議員定数について

議員定数は削減すればよいというものでも、多ければよいというものでもなく、いろいろな要件の中でバランスのとれた定数であることが期待されると思われる。

ア 会議体としての議会の能率的な運営ができる定数であること。

イ 多数の住民が推す優れた人材が選出される定数であること。

ウ 町の組織体として、すなわち職員との調和が保たれる定数であること。

エ 民意が反映できる定数であること。

オ 議会の権能を発揮できる組織体であること。

・議事機関としての権能—議論のできる定数であること。

・立法機関としての権能—専門的な権能が発揮できる定数であること。

・監視機関としての権能—チェック機関として適正である定数であること。

##### (2)議員報酬について

ア 子育て世代が政治参加できる環境であること。

イ 常勤ではないものの、それに近い活動をせざるを得ないこと。

ウ 町民に理解されること。

エ 議員としての道が開けること。

オ 公選職とのバランスがとれていること。